

令和6年度森林土木関係予算確保等について

平素より、森林土木事業の推進につきまして、格別のご理解とご支援をいただいております。厚くお礼申し上げます。

さて、近年激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震等の発生に対して、将来にわたり地域の安全・安心を確保するためには、森林の防災・保水機能の高度発揮による「緑の国土強靱化」や2050年カーボンニュートラルの実現に向けた森林吸収源対策としての計画的な間伐・再造林等の森林整備及び森林資源の循環利用や林業の成長産業化に向けた木材の安定供給が喫緊の課題となっています。

岡山県においては、県土の約7割を占める森林の保水力やCO₂の吸収力、森林の適正な管理を図るための基幹的な施設である林道の整備のための予算が、長期低落傾向にあり、林道整備等が不十分であるため、必要な伐採や再造林は滞っており、この状況は改善されていません。

一方で、原油価格をはじめ、建設資材など様々な分野で物価の高騰が続いています。その上、いわゆる「2024年問題」では、来年4月1日から、時間外労働時間の上限規制が建設業者にも適用されるため、労働時間の削減を強く進めなければなりません。

こうした状況を十分ご勘案の上、令和6年度予算編成にあたり、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 森林土木関係予算の確保について

「緑の国土強靱化」や2050年カーボンニュートラルの実現といった大所高所に立った予算編成を念頭に、林野公共（森林整備事業、林道整備事業）予算及び県単独事業（小規模林道整備事業）予算の確保と拡大をお願いします。